

山梨方言の形容詞「無い」の仮定条件形（前）

秋 山 洋 一

The Assumptive-Forms of the Adjective “無い” (NAI)
in Yamanashi Dialect (part 1)

Yoichi Akiyama
Yamanashi Women's Junior College

はじめに

山梨方言の「無ければ」の意を表わす種々の言い方の中には、地域性の強い語形（型）がいくつかあるが、前稿（秋山 2000）の〔無ケ(ク)N～〕型条件形に続いて、今回はさらに〔ナイ+α〕型をはじめとするその他の条件形について、その全貌を明らかにしようとするものである。

まず、臨地調査の結果を報告し（前編）、続いて、近隣諸地域との比較を通じた位置付けと種々の考察（後編）を行う。

1 研究の経緯と今回の目的

「無ければ」の意を表わす条件形は、山梨方言においても、形容詞「無い」の仮定形とその複合形とが併用されている。即ち、「ナケリヤー・ナキャー」などの仮定形中心のものや、「ナイジャー・ナイト」などの「ナイ+α」型のもの、さらに、「ナケニヤー・ナケネー(バ)」などの「ナケ(ク)+α」型のもの、その他、「ナク(ッ)チャー・ナカッタラ」等々さまざまな語形が行なわれている。

それらの全貌を順次明らかにすべく、前稿ではまず、「ナケニヤー・ナケネー(バ)・ナケネ(ー)キャー」などの〔無ケ(ク)N～〕型の複合辞的条件句の諸形の使用状況について中間の報告を行なったところである（秋山 2000）。

それによると、〔無ケ(ク)N～〕型は国中地方（西部方言）にのみ分布が見られ、特に「ナケネー(バ)」は最も多く広範囲に使用されていて、東海東山方言域で見ると地域限定型の特異な語形であることがわかった。続いて、「ナケニヤー」「ナケネ(ー)キャー」が一定以上の分布を示す。

また、「ナクネー(バ)・ナクニヤー」などの〔無クN～〕型が国中東部（甲府市北部山間部・東山梨・東八代）に限って分布していることも新たにわかった。そして、これらは老年層では決して劣勢ではないが、管見の範囲ではこの種の現象の詳細な記述が見られないところを見ると、いわゆる「気付かれにくい方言」の一種ということが言えよう。（注1）

その他、分布とまでは行かないまでも、個人的使用と思われるもの、また、会話記録から得られた種々の語形を含めると、その数は40以上にのぼった。

それらの〔無ケ(ク)N～〕型をさらに系統によって分類してみると次のようになる。

- (a) [～ネバ] 系 ○ナケ(ク)ネバ ナケ(ク)ニヤー
- (b) [～ナイ] 系 ○ナケナイ(バ) *ナケ(ク)ネー(バ) * (注2)
 ○ナケ(ク)ネーケレバ ナケ(ク)ネーケリヤー ナケ(ク)ネ(ー)キャー

○ナケ(ク)ナイジャー	ナケ(ク)ネージャー
○ナケ(ク)ナイト	ナケ(ク)ネット
○ナケ(ク)ナイナラ	ナケ(ク)ナイダラ
○ナケナイニヤー	ナケ(ク)ネーニヤー
○ナケ(ク)ナケレバ	ナケ(ク)ナケロバ
○ナケ(ク)ナケリヤー	ナケ(ク)ナキャー
○ナケ(ク)ナクチャー	ナケ(ク)ナカッタラ
○ナケ(ク)ナンダラ	
(c) [～ノー] 系	○ナケノー

今後の継続調査によって、上記の様相も異なってくるかもしれないが、これからわかるように、Nの部分の系統からは「～ナイ」系のものが圧倒的に多く、この点は東海東山方言の中でも山梨が突出しており、一つの特徴として指摘できる。

また、用法は、自立語としての独立用法と補助用言の用法が主であるが、人によっては、動詞に直接すること（助動詞的用法）も可能で、単なる形容詞とは若干性格を異なる面も見られた。

従って、これらは将来的には否定の助動詞との比較が課題の一つになって来ようが、それはそれとして、当面の問題として、「無ければ」の意をあらわす条件句としては上記の他にどのような語形が使用されているのか、また、西関東方言とされる郡内地方（東部方言）においてはどうなっているのか、こうした課題について、山梨県全域の使用状況の概要を明らかにしておかなければならない。それが今回の調査目的であり、以下はその第一回の中間報告である。

2 山梨方言の形容詞「無い」の仮定条件形（臨地調査）

今回は、前稿との対比の関係で、臨地調査の結果を先に報告することにする。

調査地点は国中地方（西部方言）66 地点（70 件）、郡内地方（東部方言）22 地点（24 件）で合計 86 地点（94 件）である。なお、調査時期が異なる関係で、調査地点と話者にも若干の異同がある。

調査法はほぼ前回と同様で、まず、インフォーマントについては、明治末から大正にかけての土地生え抜きの老年層とし、次の 3 種の項目について質問調査法による調査を実施した。

- ① 「杖が無ければ、歩けないようになっちゃった。」
- ② 「そうでなければ許さないぞ。」
- ③ 「寒くなければ外に出てもいいよ。」「そんなに遠くなければ、一人でも行けるよ。」

用法の上からは、①は自立語としての独立用法、②・③は補助用言としての用法である。また、③の第一例は前稿と同じものであるが、後件が働き掛けの表現になっているので、もう一つの例文を用意した。

なお、[無ケ(ク)N～] 型条件句には助動詞的用法も散見されるので、前稿では第④項目に「はっきり言わなければわからないよ。」という助動詞用法の例文を加えておいたが、今回は除外した。

調査の結果については地図化しないで、地域別の一覧表 4 枚に示した。（表 1-a・表 1-b・表 1-c・表 1-d を参照）なお、表中の地域区分は郡単位になっているが、甲府市は前稿と同じく別立てにした。

2-1 使用語形の種類と分布の概要

今回の調査によって得られた「無ければ」の意の条件形 40 種を、まず語形の上から表 1-a・表 1-b・表 1-c・表 1-d によって分類して示すと、次のようになる。

- (A) 連用形複合型（連用形「ナク・ナカッ」と条件形を作る別語との複合形）
 - ナク(ッ)チャー ナカー（国中の一部）

表1-a 山梨方言の形容詞「無い」の仮定形の諸語形使用一覧表(1)

地 区	北 巨 摩 地 区	中巨摩地区	甲 府 市			
地 点 名	a b c d e f g h 白 川 須 大 菓 双 芥 州 町 淀 玉 泉 崎 町 大 上 竹 柳 村 町 有 町 武 教 宇 沢 町 有 町 川 来 ① ② ① ② 町 石	i j k l m n o 小 高 須 大 菓 双 芥 淵 町 玉 泉 崎 町 沢 町 町 村 市 町 町 村 小 谷 柳 柳 尾 山 尾 戸 平 平 根 東 ① ② 垈	a b c 芦 安 村 町 白 檻 町 櫛 町	d e 竜 田 富 町 田 王 町 篠 町 櫛 町 西 野 岡	a b c d e 里 古 中 上 上 上 小 帯 那 那 吉 条 河 原 町 町 町 町 町 ① ②	f g 猪 犬 町 下 黒 平 狩 町 黑 平
語 形						
ナケレバ	○○○○○△○○	○○○○○○○○	○○△	○×	◎○○○×	○○
ナイケレバ	× ×		×	× ×	× × × ×	
ネーケレバ	× × × ×		×	× × ×	× × ×	
ニャーケレバ						
ナケロバ	× ○○○×△×○	○○○○△○○	△○○	× ×	× × ○○○	○○
ネーケロバ	×		×	×	× × × ×	
ナキヤー	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○○○	○○	△○○○○	○○
ナイキヤー	×		×	× × ×	× × × ×	
ネーキヤー	△ ×		×	× × ×	× × × ×	
ニャーキヤー						
ナケリヤー	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○○○	○×	△○○○○	○○
ナケラー		○				
ナイケリヤー		×	×	×	× × ×	
ネーケリヤー	△ ×	×	×	× ×	× × × ×	○
ニャーケリヤー						
ナク(ッ)チャー	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○○○	○	△○○○○	○○
ナイジャー	×○○○○○○○○	○○○○○○× ^B ○	○××	○	×○○○○	○
ネージャー	×○○○○○○×○	△○○○○○×○	○○○	○○	○○△○	○○
ニャージャー						
ナイト	○ ^A ○ ○○○○	○○○○	○	○○×	○○○○	○○
ネート	○ ^A ○ ○○×○	○○○○	○	○○○	○○○○	○○
ニャート						
ナカッタラ	○○○○○○○○	○○○○○○○○	○○○	○○	×○○○○	○△○ ^B
ネーカッタラ	×	×	○	×	×	
ニャーカッタラ					×	
ナイナラ	○ ○ ○	○○○○	○	○××	○○○×	○×
ナイダラ	○ ○ ×	○○○○	○	○××	××△	○×
ネーナラ	×	○○○○	○	○×○	○○○×	○
ネーダラ	○ × ×	○○○○	○	○×○	××△	○○
ニャーナラ						
ニャーダラ						
ナカー	× × × ×	×	×	× × ×	× × × × ×	×
ナイニヤー	×	×	×	× × ×	× × × ×	×
ネーニヤー	×	×	×	× × ×	× × × ×	×

◎=中でもよく使う語形。

○=普通に使う語形。

△=たまに使うこともある語形。

×=使用しない語形。

*空欄は未調査の部分。

◇=証言のゆれ有り。「使う」と言ったり「使わない」と言ったり)

※=不使用だが、土地の古老が使っていた語形。

[傍注] A=自立語のみ。B=補助用言用法のみ。ム=昔使ったことがある。

丁=丁寧で改まった感じ。シ=新しい言葉。

表1-b 山梨方言の形容詞「無い」の仮定形の諸語形使用一覧表(2)

地 区	東 山 梨 地 区												東 八 代 地 区																						
	a 三富村 川浦	b 牧丘 徳和	c 丘町 塩平	d 市千野 高橋	e 市竹 森	f 市中萩原 萩原	g 市市川 市川	h 市切差 菱山	i 市勝沼町 日影	j 勝沼町 日影	k 大和村 田野	l 大和村 田野	a 一宮町 小城	b 御坂町上 黒駒	c 藤野木	d 八代町高家	e 中道町七覺	f 八代町奈良原 芦川村上芦川	g 芦川村上芦川 中芦川①	h 芦川村上芦川 中芦川②	i 中芦川														
地 点 名	語 形												三富村 川浦	牧丘 徳和	丘町 塩平	市千野 高橋	市竹 森	市中萩原 萩原	市市川 市川	市切差 菱山	市勝沼町 日影	勝沼町 日影	大和村 田野	大和村 田野	一宮町 小城	御坂町上 黒駒	藤野木	八代町高家	中道町七覺	八代町奈良原 芦川村上芦川	芦川村上芦川 中芦川①	中芦川			
ナケレバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	△	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ナイケレバ		×																																	
ネーケレバ	×	×																																	
ニャーケレバ																																			
ナケロバ	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×			
ネーケロバ																																			
ナキヤー	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ナイキヤー																																			
ネーキヤー																																			
ニャーキヤー																																			
ナケリヤー	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ナケラー																																			
ナイケリヤー		×																																	
ネーケリヤー		×																																	
ニャーケリヤー																																			
ナク(ッ)チャー	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ナイジヤー																																			
ネージヤー																																			
ニャージヤー																																			
ナイト	×				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ネート	×				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ニャート																																			
ナカッタラ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ネーカッタラ																																			
ニャーカッタラ																																			
ナイナラ	×																																		
ナイダラ	×																																		
ネーナラ	×																																		
ネーダラ	×																																		
ニャーダラ																																			
ニャーナラ																																			
ナカー	×	×																																	
ナイニヤー	×																																		
ネーニヤー	×																																		

◎=中でもよく使う語形。

○=普通に使う語形。

△=たまに使うこともある語形。

×=使用しない語形。

*空欄は未調査の部分。

◇=証言のゆれ有り。(「使う」と言ったり「使わない」と言ったり)

※=不使用だが、土地の古老が使っていた語形。

[傍注] A=自立語のみ。B=補助用言用法のみ。ム=昔使ったことがある。

丁=丁寧で改まった感じ。シ=新しい言葉。

表1-c 山梨方言の形容詞「無い」の仮定形の諸語形使用一覧表(3)

地 区	南 巨 摘 地 区														西 八 代 地 区							
地 点 名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	a	b	c	d	e	f	g
増 穂 町 平 林	鰐	身	延	川	早	川	早	川	早	川	早	川	南	部	富	市	六	下	上	九	一	精
穂 沢 町 十 谷	澤	延	町	門	大	薬	老	茂	上	奈	奈	良	上	佐	成	川	郷	部	下	九	色	進
穂 沢 町 十 谷	町	町	町	門	大	袋	平	倉	湯	田	良	田	佐	野	島	町	町	町	部	九	村	本
									①	②						間	芝	湯	之	奥	本	郷
																清水						
語 形																						
ナケレバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ナイケレバ	×		×	△ ^B	×	×	×	×														
ネーケレバ	×		×	△ ^B	×	×																
ニャーケレバ																						
ナケロバ	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	
ネーケロバ																						
ナキヤー	×	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ナイキヤー										△ ^B	×	×										
ネーキヤー										△ ^B	×	×										
ニャーキヤー																						
ナケリヤー	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ナケラー																						
ナイケリヤー										△ ^B	×	×										
ネーケリヤー										△ ^B	×	×										
ニャーケリヤー																						
ナク(ッ)チャー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
ナイジヤー	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
ネージヤー	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
ニャージヤー																						
ナイト	○	○	×	○	○			○	○			○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
ネート	○	○	○	○	○			×				○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	
ニャート															○							
ナカッタラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ネーカッタラ												×										
ニャーカッタラ																						
ナイナラ	×	○		○	○			○	○	×			○	×	×		○					
ナイダラ	×	×		○				×	×				○	×	×		○	△				
ネーナラ	×	○		○	○			×	×				○	×	○		×	○	×	○		
ネーダラ	×	×		×	○			×	×				○	×	○		○	△	×	×		
ニャーナラ																						
ニャーダラ																						
ナカ	×	×		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
ナイニヤー	×	×		○				×	×	×	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	
ネーニヤー	×	×		○				×	×	○			×	×	×	×	×	×	×	×	×	

◎=中でもよく使う語形。

◇=証言のゆれ有り。(「使う」と言ったり「使わない」と言ったり)

○=普通に使う語形。

※=不使用だが、土地の古老が使っていた語形。

△=たまに使うこともある語形。

[傍注] A=自立語のみ。B=補助用言用法のみ。ム=昔使ったことがある。

×=使用しない語形。

丁=丁寧で改まった感じ。シ=新しい言葉。

*空欄は未調査の部分。

表1-d 山梨方言の形容詞「無い」の仮定形の諸語形使用一覧表(4)

地 区	北 都 留 地 区										南 都 留 地 区														
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	
地 点 名	丹波	小菅	山村	橋立	池	池	長作	野原町	市	日	猿	真木	笛子	都留市	小野	大幡	与繩	西桂町	道志村	忍野村	山中湖村	山中	河口湖町	足和田村	鳴沢村
語 形	①	②																							
ナケ(キ)レバ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ナイケ(キ)レバ																									
ネーケ(キ)レバ	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	△	○	○	○	○			
ニヤーケレバ(ネー)																									
ナケロバ	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
ネーケロバ																									
ナキヤー	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ナイキヤー																									
ネーキヤー																									
ニヤーキヤー																									
ナケ(キ)リヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ナケラー																									
ナイケ(キ)リヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○		
ネーケ(キ)リヤー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ニヤーケリヤー(ネー)																				x(○)	x(○)	x(○)	x(○)		
ナク(ッ)チャー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ナイジャー																									
ネージャー																									
ニヤージャー(ネー)																									
ナイト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ネート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ニヤート(ニアート)																									
ナカッタラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ネーカッタラ																									
ニヤーカッタラ																									
ナイナラ	○	○	○	○	○	×	○	×	○																
ナイダラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ネーナラ	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○		
ネーダラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
ニヤーナラ(ネー)																									
ニヤーダラ																									
ナカー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
ナイニヤー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×		
ネーニヤー	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		

◎=中でもよく使う語形。

◇=証言のゆれ有り。「使う」と言ったり「使わない」と言ったり

○=普通に使う語形。

※=不使用だが、土地の古老が使っていた語形。

△=たまに使うこともある語形。

[傍注] A=自立語のみ。B=補助用言用法のみ。ム=昔使ったことがある。

×=使用しない語形。

丁=丁寧で改まった感じ。シ=新しい言葉。

*空欄は未調査の部分。

○ナカッタラ

(B) 終止・連体形複合型（終止・連体形「ナイ」と条件形を作る別語との複合形）

- ナイケレバ (微少、主に郡内) ネーケレバ (微少、主に郡内)
ネーケレバ (河口湖町の一部) ナイキレバ (上野原町の一部)
ネーキレバ (上野原町の一部)
- ナイケリヤー (郡内周辺部) ネーケリヤー (郡内周辺部)
ネーケリヤー (山中湖村・河口湖町の一部)
ナイキリヤー (小菅村・上野原町の一部) ナイキリヤー (小菅村・上野原町の一部)
- ナイキャー (微少・主に郡内) ネーキャー (微少・主に郡内)
ニーキャー (足和田村の一部)
- ナイジャー ネージャー ニャージャー (富沢町・大月市の一部)
ネーアージャー (河口湖町の一部)
- ナイト ネート ネアート (南都留郡の一部)
- ナイナラ ナイダラ ネーナラ ネーダラ
ニーカーナラ (郡内・富沢町の一部) ナイナラ (河口湖町の一部)
ニーカーダラ (郡内・富沢町の一部)
- ナイニャー (微少) ネーニャー (微少)
- ネーカッタラ (微少)

(C) 仮定形複合型（仮定形「ナケレバ」とその変化形）

- ナケレバ ナキレバ (上野原町の一部) ナケロバ (国中全般・小菅村の一部)
- ナケリヤー ナキリヤー (小菅村・上野原町の一部)
- ナケラー (韮崎市の一部)
- ナキヤー

以上の分類表から、大まかな傾向として次のようなことが指摘できる。

- (1) 語形のタイプとしては（B）の [ナイ+ α] 型（終止・連体形複合型）に属する語形が 30 種 (75%) と多数を占め、語形の種類では先の [無ケ(ク)N~] 型条件形に次ぐものとなっていて、その辺に地域的特色が現われていると言えよう。
一方、地域的な使用密度では（A）・（C）型の中に密度の高いものがあり、県全体としてはそれらが常用語となっている様子がわかる。
- (2) よく使われる語形としては、「ナケレバ・ナケリヤー・ナキヤー・ナク(ッ)チャ・ナカッタラ・ナイト」があり、全県的に満遍無く分布している。次いで、「ナイジャー・ネージャー・ネート」といった語形が多く見られる。
また、「ナイナラ・ネーナラ・ナイダラ・ネーダラ」も決して多いとは言えないが、特に地域的な偏りも無く使用されている。
- (3) 国中地方と郡内地方との地域差を挙げれば、まず、「ナケロバ」といういわゆる [-oba] 形が国中地方中心によく使用されているのに対して、郡内地方では「ナイケリヤー・ネーケリヤー・ネーキャー」など、[ナイ(ネー)+ α] 型（終止・連体形複合型）の語形の種類に幅があることが挙げられる。ただ、「ナイジャー・ネージャー」は国中地方の方が使用密度が高いと言える。

以上の如くであるが、近隣地域との比較を通して見た特色や、微細な現象についての指摘や解釈などは後編に譲るとして、ここでは上記の概要に関し、既発表の報告との照合を交えながら、少しくコメントを添えておくことにする。

まず、語種についてであるが、今までの報告の中で、形容詞の条件形について比較的詳しいのは、

『勝沼町誌』と『増穂町誌』で、両者合わせると、当時の使用語の型がおおよそ知れる。(前者には「無い」も挙げられている。)

活用表には、それぞれ「～ケレ(バ)・～ケリヤー」、「～ケレ(バ)・(～イジャー・～カー・～キャー・～ケロ(バ)・～ケリヤー)」の諸語形が載せられている。さらに、前者の説明の中には、「～ンナラ」(赤インナラなど) や「～ジャー」(イイジャー・正シイジャーなど) も見られる。他の報告書を見てもこれ以外の語形は見当らない。従って、これらは上記の「よく使われる語形」の中にだいたい納まっているものとみてよい。(「～カー」については、形容詞の単語によって異なるようである。)

次に、(2)について言えば、全国で共通に使用される語形が高齢者(老年層)の間にも広まっているという実態を示すかっこうにはなっているが、ただ、上記の結果はあくまで「使用か不使用か」の質問に対する回答だということである。中には、一覧表に示したように、「新しい語形」だとか、「改まっている」だとか、種々の条件をつけた回答もあり、当然のことながら、場面による使い分けということを視野に入れておく必要があるということである。具体的には、上記の「ナケレバ・ナケリヤー・ナク(ッ)チャ・ナカッタラ・ナイト・ナイナラ」などがそれに当たる。

『勝沼町誌』や『増穂町誌』をはじめとする県内の各市町村誌では、「～ケリヤー・～ケレ(バ)」を挙げるものが多いということだけ触れておくが、[無ケ(ク)N～] 型条件句をも含めて、各地域ごとの報告書との比較などについては後編で取り上げることにする。

なお、「ナイバ」「ネーバ」という語形は見られず、これは単独では使われないことが知れる。

最後に、(3)に関して、『講座方言学6』では活用表に、「～けろ(ば)」(西部方言)と「～けりゃー」(東部方言)と「～けれ(ば)」(奈良田方言)を挙げて、「奈良田が最も共通語的である。」としている。今回の調査は「無い」に限定してはいるが、奈良田はともかく、西部と東部のこの種の割り切り方には、ややもすると誤解を招く可能性がある。ただ、同じ解説者が複数の市町村誌をも担当しているので、次回(後編)ではそれらを見渡しながら、地域性や時系列的な問題にも言及することにする。

3 まとめ(中間)

山梨方言の「無ければ」の意を表わす条件形のうち、形容詞「無い」の活用にからんだ仮定条件形についての臨地調査の結果について、表1-a～dを中心に報告し、また、そのおおまかな傾向を概要の形で第2章(2-1)にまとめた。それを以て、前編の中間まとめとしておきたい。

[注]

- 1) 『高根町誌』(北巨摩郡)に、条件表現の一つとして「ナケニャー(車でもなけにゃー)」が挙げられているが、解説は無い。(秋山2000にも引用してある。)
- 2) 「～ネー(バ)」は「～ナイ(バ)」と同様、例えば「行カナイバ(ネーバ)」(行かなければ)などに使われる否定の条件形(助動詞)と同じものであるが、ここでは仮に「～ナイ」系に分類しておく。「～ネバ」に引き付けて変化を説明しようとする立場もある(『豊富村誌』など)が、今後の研究課題としておきたい。

[文中引用文献]

- 1 秋山 2000 秋山洋一「山梨方言の[無ケ(ク)N～]型条件形の諸相 一東海東山方言域における比較を通して一」(『山梨県立女子短大 地域研究』1。2000年3月。)
- 2 『豊富村誌』 『豊富村誌下』 第5章 方言 (2000年3月。p950。担当=吉田雅子)
- 3 『高根町誌』 『高根町誌』通史編下巻(「高根町の方言概説」1989。担当=稻垣正幸・白倉一由)
- 4 『勝沼町誌』 『勝沼町誌』第七章 方言 (1967 <s37>。p1169。担当=稻垣正幸)
- 5 『増穂町誌』 『増穂町誌下』第五章 言語 第二節 語法 (1976 <s51>。p1112。担当=清水茂夫)
- 6 『講座方言学6』 『講座方言学』6 一中部地方の方言—4「山梨県の方言」(1983 <s58>。p121。語法担当=清水茂夫)

(2001年2月7日受理)